



Japan Sporting Equipments Retailers Association

No. 77

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-8-6
東京スポーツ会館 301号室
☎ 03-5829-6490 FAX 03-5829-6491
ホームページ <http://www.jsera.jp/>
E-mail jsera@jsera.jp

(2016/8~2017/7のスローガン)
スポーツは国を救う 新たな目標に向かってチャレンジ



知恵もん・馬鹿もん・他所（よそ）もん

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

理事長 重森 仁

組合員の皆様、メーカー・卸様そして関係諸団体の皆様、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はJSERAに対し、ご理解、ご協力を賜り、紙上ですが、厚くお礼申し上げます。先日の幣組合定時総会、式典、関連事業に多数ご出席いただき有難うございました。重ねてお礼申し上げます。

さて、リオも終わり、いよいよ、東京オリンピック・パラリンピックに向かいます。ビッグイベントを目前にし、我々はこの機会を千載一遇のチャンスと捉え飛躍の機会にしなければなりません。それは個々の大会を盛り上げビジネスチャンスとするだけでなく、これらをテコとして、将来にわたってスポーツが発展する土壌を皆様と作りあげていきたいものです。

先の総会時の研修会においてパネルディスカッションのまとめをさせていただきました。その時、組織に必要な人材として「知恵もん・馬鹿もん・他所（よそ）もん」の話をいたしました。この3者のことは、友人から聞いたことですが、彼も誰かに聞いたか、本で知ったのかもしれませんが、聞いて以来、頭の隅に置いて

います。ブレーンは勿論のこと、一筋に頑張ってくれるスタッフは大切ですが、時に無関心を装ったり、反目する連中も組織には大切と思っています。

三層協調は大切ですが、時に「他所もん」ぶることも必要かと思えます。

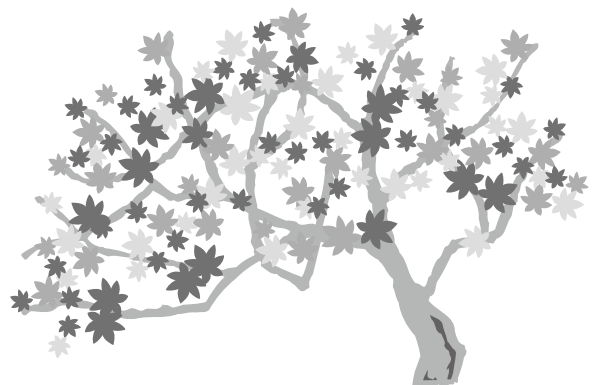
さて、私事、この年になっても、時々スポーツ関係の全国大会に選手として参加することがあります。選手となれば、売店で記念のポロシャツ・Tシャツを漁り、気に入ったものがあれば、買い求めます。最近では、スポーツ業界関係の売店が「減ったな」との印象を受けます。三層が協力して行っている3大大会（全中、高校総体、国体）売店の件ですが、とりわけ国体において出店が減っています。ロイヤリティの問題もありますが、いささかJSECの原点を忘れかけているのではないかと危惧します。選手たちに、商品をアピールしたり、意見交換を行ったり、機能性が高いなど高付加価値の記念品の提供を目的に共同して売店活動を行い、収益の一部は地域スポーツに還元することが原点でしたが、利益が全面に出て、選手のことが蔑ろになっ

ていないでしょうか。場合によっては、バーゲンセールの特典とさえ受けとれる事態となっています。企業である以上、利益を頭に入れて置くことは必要ですが、原点を忘れれば、結果的に売店活動が、大会運営者、参加者に否定されかねません。我々組合員は、メーカー・卸様の売上の一部を組合が預かり、「児童養護施設にボールを贈ろう」、「ブロックスポーツ大会」、「公取協関係の研修」など地域スポーツの振興に役立てています。一部の組合員に動きの鈍さがあることを自戒しなければなりません。今一度JSECの精神を思い起こしたいものです。更に、3大会以外の大大会においてもこの精神に立って活動していただきたいと思ひます。メーカー・卸様のスポーツ大会売店活動においては必ず各都道府県組合に連絡いただき、連携して行っただき、地域スポーツの発展の一助を担っていただきますよう重ねてお願いいたします。

今度は馬鹿もんの話をしましょう。美馬活性化委員長そして私も突っ走っています。それは、JSERA事業の柱の一つ、「スポーツ用器具管理アドバイザー」のことです。組合員が日常の営業、販売等の業務で蓄積した経験を2日間の講習で整理し、学校や地域において、スポーツ用器具の保守点検、維持管理に指導的役割を果たし、さらに備品の更新計画についてもアドバイス出来るように取り組んでいこうとするものです。スポーツ用器具の「町医者」に徹して、地域消費者が安心してスポーツ用器具の購入を相談できる店を告知するための制度でもあります。「国家資格なら・・・」との指摘（当面は不可能）があることは知りつつ、JSERAの資格としてスタートしました。1年間の試行のなかで、この資格のバックが誰であろうと我々の取り組みを待っていた人たちが多くいることを実感しました。県組合としての高知の取り組みは目覚ましいことはご存知ですが、個々の組合員の取り組みでも成果を出されつつあります。

Kさんは今まで入り込めなかった県立の高等学校の体育科にご愛顧されるようになりました。「管理アドバイザー」のことを主任の先生に話しておいた1か月ほど後、スポーツタイマーの修理依頼がありました。それを即座に対応し、喜ばれました。さらに一か月ほど後にコンベーションマシンの一台が故障したので、何とかしてほしいとの一報を受け、対応しました。「器具が古いので一度点検されては」とのアドバイスをされたら、聞き入れていただき、また、来年も点検していただく約束を取り付けました。さらに、体育科の残り予算全部で消耗品の受注もいただいたそうです。信頼が大きなビジネスを生み出していった一話です。すべてがこのようにうまくいくわけではありませんが、今後各地で開かれる講習会・認定会に参加いただき、「スポーツ用器具管理アドバイザー」の資格を持ち、それを積極的に活用させることが大切です。学校の先生方、事務長さんは待っています。卸の皆様におかれましてはわれわれ組合員の納品に協力いただくこともあります。来年後半には卸さん向けに「認定会・講習会」を実施する予定です。ぜひこの「アドバイザー制度」をご理解いただき、受講いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、今総会の労を取っていただいた和歌山組合の皆さん、近畿ブロックの皆さんに感謝しつつ、ペンを置きます。



全国大会を開催して



和歌山県スポーツ用品小売協同組合

理事長 瀧本 明生

先日、開催されました2016年第17回JSERA定時総会・全国大会（和歌山大会）の御礼とご報告を申し上げます。

皆様方におかれましては、お忙しい中、北は北海道から南は沖縄県までの組合員様並びにご来賓の方々総勢210余名のご参加をいただき誠にありがとうございました。

振り返りましたら、平成26年10月のJSERA近畿ブロック協議会にて、平成28年の定時総会・全国大会は近畿ブロックで受けることになりますというお話がありました。なお近畿2府4県で全国大会がまだ開催されていない府県は、滋賀県と和歌山県の2県とのことで、どちらが受けるかは協議して決めて下さいということになりました。滋賀県組合様理事会では、和歌山県組合にぜひとも開催してほしいという意見でございました。この様な事を経て和歌山県組合が受けさせていただくことになりました。

平成27年6月の和歌山県組合定時総会にて組合員に説明をし、その後実行委員会を立ち上げ、役割分担（組織）を作り準備に入って行った次第です。また10月には長崎県大会の視察に4名行かせていただきました。

実行委員会にて、大会研修会の講演及び2部研修会につきまして協議したところ、和歌山県は大正時代より現代迄、野球の強い所でありますので、メインテーマを「野球」に決定しました。

講演の講師様を決めるに当り、和歌山県と縁の深い、日本高等学校野球連盟事務局長の竹中雅彦先生にお願いすることになり、要請したところ快諾いただきました。

2部研修会につきましては、近畿ブロック協議会様をお願いして「野球」をテーマにしたパネルディスカッションを奈良県組合員（株）マツダスポーツ松田修一様に内容の検討をお願いいたしました。



（公財）日本高等学校野球連盟 事務局長

野球の競技人口減少化をいかにして食い止めて、なお増加に転じなければなりません。

皆様もお聞きになったと思いますが、メーカー21社が集って「野球活性化委員会」が立ち上がろうとしています。またNPB日本野球機構様も審判講習会、また学童野球の野球教室、Tボール競技の普及等努力されているところです。

2020年東京オリンピックにて、野球とソフトボールが正式競技種目として復活いたしました。競技人口を増やすのに千載一遇のチャンスです。我々三層知恵を絞って何かしら行動しましょう。

余談ですが、全国大会が終った先日、ある中学校のグラウンドを見ると、軟式野球部とサッカー部が練習していました。数えたものではありませんが、サッカー部員は軟式野球部員の約倍ほど居る様に見えました。愕然といたしました。これほど



差があるとは思っていませんでした。

2部研修会のもう一つは、レディスフォーラムでございます。約25名の参加をいただいたとのことでした。活発な意見・討論がなされたとお聞きしました。私達小売店は女性の力なしでは成り立ちません。ウェア等の店頭販売、お店の経理及びその他の事務仕事と男性とは違った分野を担当されていると思います。

レディスフォーラムのお世話をさせていただい

て思ったことは、女性の全国大会への参加をどうすれば増やすことができるかという問題です。一つの提案ですが、6月～8月に開催されます各ブロック協議会の議題の一つに上げてもらうことです。

最後になりましたが、目まぐるしく変る環境の中、今後共JSERAの元で三層協力の上、諸問題を解決し、売上アップを願う次第です。



伝達式 和歌山から東京へ



感謝状贈呈・功労者表彰名簿

◎ 感謝状贈呈

NO.	行 事	年度	組 合 名	理 事 長
1	国 民 体 育 大 会	28	岩手県スポーツ用品専門店協同組合	八 森 辰 雄
2	全 国 高 校 総 体	28	鳥取県運動用具商協同組合	尾 坂 眞 人
		28	島根県スポーツ用品組合	浅 津 博 行
		28	岡山県運動用具商協同組合	治 郎 丸 真 介
		28	広島県スポーツ用品協同組合	渡 邊 健 介
		28	山口県スポーツ用品小売協同組合	河 上 年 博
3	全国中学校体育大会	28	新潟県スポーツ用品小売協同組合	大 原 莊 一 郎
		28	長野県運動用品専門店協同組合	後 藤 信 治
		28	富山県スポーツ用品協同組合	吉 居 正
		28	石川県スポーツ用品協同組合	甲 秋 水
		28	福井県スポーツ用品協同組合	小 林 利 一
4	JSERA 全 国 大 会	27	長崎県スポーツ用品協同組合	森 彰 夫

◎ 功労者表彰

NO.	所 属 組 合 名	氏 名	店 名
1	宮城県スポーツ用品協同組合	松 村 善 行	(有)スポーツショップマツムラ
2	埼玉スポーツ用品小売商業協同組合	松 崎 優	マ ッ ザ キ ス ポ ー ツ
3	神奈川県運動用具商協同組合	三 谷 史 郎	(株) ア メ リ カ 屋
4	福井県スポーツ用品協同組合	友 田 憲 治	(株) 太 陽 ス ポ ー ツ
5	愛知県スポーツ用品商業協同組合	尾 嶋 遣 一	(有) オ ジ マ ス ポ ー ツ
6	岐阜県スポーツ用品協同組合	澤 田 基 朗	(株) サ ワ ダ ス ポ ー ツ
7	京都運動用具商協同組合	宗 田 千 耕	向 東 ス ポ ー ツ
8	岡山県運動用具商協同組合	竹 波 健	ブ レ イ ス ポ ー ツ
9	香川県スポーツ用品協同組合	好 多 義 和	(株) 若 松 屋 ス ポ ー ツ

第5回レディスフォーラム 報告



石川県スポーツ用品協同組合

甲 サキ子
(かぶとやスポーツ)

10月20日 JSERA 全国大会が和歌山県で開催されました。レディスフォーラムも第5回目を迎え、23名の方が参加され有意義な会となりました。

近畿ブロックの協力もあり和歌山県から7名、京都府から3名、奈良県から初めて参加されたという2名の方たちと一緒に、事前アンケートを基に話し合いを進めていきました。

まず、参加された2名からそのお店の強みについて資料を基にお話をいただきました。福井県のスポーツコバヤシさんからは写真活動について、島根県のセントラルスポーツさんからはノルディックウォークの活動のお話をいただきました。

その後、3つのテーブルに分かれ、アンケート

の資料を基に各お店のそれぞれの特徴や取組について話し合いが持たれ、最後に今後の課題について発表をしていただきました。

まとめますと各店とも専門店に特化しているという事。また、今後店売りだけではなく、外商に目を向けて行く。人の力、マンパワーに力をそいでいく事が生き残り策の一つではないか。お互い励まし合い元気をもらった会でした。

最後に岡山県の栄光スポーツの三宅直子社長から、ご自分が立ち上げたランニングショップについての経験談をお話ししてもらいました。大変な思いをして成功を勝ち取られたお話に大変感動して会が終了しました。

出席されたほとんどの方が充実感と満足感を持って部屋を出られたと思います。改めてレディスフォーラムの必要性を感じた一日でした。



素晴らしい秋晴の中、全国から和歌山に集まって下さった女性の皆様短い時間ではありましたが、とても有意義なひとときを共有できましたこと本当にありがとうございました。

毎回参加して感じるのは地域で活躍されている女性がたくさんいる事です。年齢に関係なく前向きにあらゆる事に取り組み、お話をされている表情はとても生き生きとされています。刺激のあるエネルギーを頂き毎日大切に使っていきたいと思います。

これからも同じ JSERA の組合員の仲間が話合える場としてレディスフォーラムを応援していただきますよう心よりお願い致します。

レディス部会 代表 吉田留美子

第18期 JSERA 委員会と担当業務

【活性化委員会】

重点 スポーツ用具管理アドバイザー制度に向けた活路開拓事業

- 1 スポーツ用具管理アドバイザー認定講習会の実施
- 2 「体育の日」の活性化への努力
- 3 2020 東京オリンピック・パラリンピックと地域スポーツの推進
- 4 各組合法人化の推進

【共生委員会】

重点 三層と協調した利益率向上に向けた取り組みの研究

- 1 メーカー・卸との交流と対話
- 2 各ブロック内における共生委員会の組織作り
- 3 販売促進活動の正常化
- 4 体育器具等の納品に関わる諸問題

【広報委員会】

重点 JSERA ホームページの活性化及びネット・メール活用

- 1 JSERA ホームページの活性化及びネット・メール活用
- 2 広報誌 JSERA リポートの発行
- 3 女性の活力を生かす知恵創り

【事業委員会】

重点 全国大会の売店活動強化と儲かる商材の研究

- 1 ラインパウダー・ショッピングバッグ・スポーツ安全メガネ事業の推進
- 2 JSERA 新商品の発掘
- 3 全国大会等へのサポート
- 4 JSEC・NES等の連携強化
- 5 POS事業の推進

【総務委員会】

重点 会員増強対策

- 1 各ブロック・各組合とのコミュニケーションと会員増強
- 2 総会・(全国大会)・理事会・全国理事長会議の設営
- 3 PL 保険等の見直し
- 4 その他

【会計】

重点 経費の見直し

- 1 JSERA 会計
- 2 toto 事業の推進



新理事の抱負

宮城県スポーツ用品協同組合

理事長 早川 純 一

JSERA 組合員の皆様はじめまして。

私は 28 年 10 月の総会にて理事に選出されました、宮城県理事長の早川純一でございます。驚いている暇もなく早々に新理事の抱負があり、組合員の視点から理事の視点で考えなければと思い、非常に重い責任を感じております。

各組合員様の悩みとして、少子高齢化や後継者不在、JSERA 会員の減少、メーカーや問屋との関係、大型店、ネット販売等、いろんな問題が蓄積しておりますが、これからの競争相手はスポーツ専門メーカー以外の業者です。アパレル業者、輸入業者、製造業者等、他業種からもスポーツ用品（器具）に参入してきている現在、地域での競合店以上に、見えない競争相手がたくさんあります。

個人的な意見ですが、人間力のスキルをアップし、データや情報を分析し、固定観念に縛られないアイデアを常に生み出し実行する力が必要かと、肌で感じております。

このような大変な時代に力不足ではありますが、組合員の皆様の為に少しでもお役に立てればと考えております。

これからも末永くご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



JSERA 新理事 としての抱負

神奈川県運動具商協同組合

理事長 村山 明 宏

・・・一致団結・・・

「足並みをそろえて行こうじゃないか！！」第 17 回定時総会におきまして理事を拝命しました、神奈川県運動具商協同組合 理事長 村山明宏と申します。

表記の一致団結・・・は私の理事長の抱負で書きましたタイトルです。その当時の理事長方針は「組合活性化」「組合員増強」等提案しましたが、今現在満足できる内容ではありません。問題の先送りが原因と考えています。JSERA に於いても「組合員増強」「組合活性化」「後継者問題」「組合メリットの明確化」の他問題等お互い抱えている問題は同じだと考える次第です。その責任を JSERA に意見、文句を言うのではなく、今こそ一致団結して問題の先送りをせずに答えを見つけ出したいと思います。この頃明るい話題が余りありませんが、これから東京オリンピックがあります。先般、新聞に「スポーツで稼ぐ国に」というタイトルでこの 4 年～10 年で 2～3 倍か？とありました。まさしく今回の「東京オリンピック」の相乗効果と思います。我々、JSERA も組合員の「一致団結」で「組合員のメリット」に繋がるオリンピックでの事業展開を期待します。

今回、関東甲信越ブロックの代表として出向させて頂きますが、全国には素晴らしい人材、知恵、資料、環境等があります。その財産を有効にもっと活用したいと思います。

これから 2 年間、「一所・懸命」組合発展の為、微力ながら奮闘しますのでよろしくお願い申し上げます。



JSERA 新理事 としての抱負

大阪スポーツ用品専門店協同組合

顧問 岸 田 昌 雄

拝呈 晩秋の候、貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年10月20日の第17回JSERA定時総会に於きまして、新理事に選ばれました大阪の岸田昌雄でございます。

私は今年6月まで大阪スポーツ用品専門店協同組合の理事長を務めさせて頂き、後身の釣 幸平新理事長の顧問に就いたばかりでした。重森理事長よりJSERAの新理事のお話を頂いたとき、私は現在69歳でもっと若返るべきと申し上げましたが、重森理事長が進めている、安心してスポーツができる場作りのスポーツ用器具管理アドバイザー制度の構築のお手伝いをさせて頂きたいと思いました。また現理事会の皆様のご賛同が得ることが出来るならと、お引き受けさせて頂くことになりました。

お引き受けした限りは、今どうすれば零細小売店ファーストかを考えて残り少ない現役の時間を精一杯、尽力を尽くす覚悟でございます。

一昨年位から仕入環境が激変してきています。今組合員がひとつになるかならないかで明暗がはっきりすると思います。此の事を切っ掛けとして、我々零細小売店の方向転換のお手伝いや共同仕入や健全な経営ができる方向をJSERAの先人達の熱い思いを忘れることなく、熱い心で業界のさらなる進歩を心がけて現役最後の時間を全力で駆けたいと思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬呈



JSERA 新理事 としての抱負

岡山県運動具商協同組合

理事長 治 郎 丸 真 介

この度の全国大会で新理事に就任しました有限会社スポーツショップムサシの治郎丸（ジロウマル）です。中国ブロックでは、10年前からブロック長を各県の持ち回りで廻しています。したがって全国理事も実力の有るなしに関わらず、浅学非才の私にも自動的に巡ってくる訳です。岡山県の理事長が全国理事になるのは山下体育社の山下会長以来7年ぶりです。山口県の大林さん、鳥取県の尾坂さん、広島県の渡邊さんと立派な方ばかりの後で、役不足は承知の上で2年間の任期を精一杯、私なりに頑張ろうと思っています。

現在、組合は重森理事長の素晴らしいリーダーシップの下、ここ数年間で活動そのものが大きく変わってきました。なぜ、組合が必要か、また組合で何が出来るか等、よく囁かれる課題を一つ一つ丁寧に説明し前進させてこられました。

そんな重森理事長の大仕事として「スポーツ用器具管理アドバイザー制度」の確立が上げられます。この事業を最初聞いた時、「これだ！」と感じました。組合離れが進む中、皆で協力してこの制度を広め、普及させる事で組合員メリットを感じてもらえる。しかも、使用者も安心してスポーツに打ち込める。さらに、施設管理者の立場でも安心して任せられる「お墨付きの業者」がいれば大変頼もしい。まさに安全で安心してスポーツができる場所と器具を提供できる組織が出来上がる訳です。「組合員で良かった」そんな声が聞こえて来る日を楽しみに力一杯頑張ります！



新理事としての抱負

長崎県スポーツ用品協同組合

平川 友美

この度、理事を拝命いたしました長崎県スポーツ用品協同組合所属、和光スポーツの平川友美と申します。

10年程前に両親が営んでいた店に入り、昨年度のJSERA全国大会長崎大会において式典等の司会の任を長崎県スポーツ用品協同組合の森彰夫理事長に仰せつかったからの組合活動になります。このように、ようやくスポーツ業界のことがわかり始めた程度の若輩者です。このような私ごとき未熟者に果たして理事としての任務を全うできるものか、いささか不安を覚えています。

しかし、昨年に引き続き2回のJSERA全国大会に参加させていただき、同業種の方々との意見交換で各店の取り組みを伺うと、私一個人としては商売に対する情熱を奮い立たせてもらいました。

孟子の「天の時は地の利に如かず。地の利は人の和に如かず。」の言葉通り、時代の流れを読み、タイミング良く事業を進めることも大切ですが、さらに大切なのは大型店にはできない小売店だからこそできる特徴や個性を徹底的に活かすよう全国の皆さんの実践を実行に移す努力すること。そしてそれ以上に大切なことは、スポーツ用品小売に携わる人々が気持ちを一つにして前向きに取り組むことだと全国大会出席者の皆さんのお話を聞いて思いました。これはやはり組合に入り、多くの方と情報交換しなければ得ることのできない貴重な体験です。

若輩者だからこそ感じることをきちんと皆さんにお伝えし、無い知恵は体力で、と言いますか実際に行動することで何とか補いたいと思います。

これまで諸先輩方が築き上げてこられた実績を踏まえ、スポーツ業界の振興並びに組合の更なる発展のために微力を尽くしてまいりたいと存じますので皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



総体報告

広島県スポーツ用品協同組合

理事長 渡邊 健介

中国5県で行なわれた「平成28年度 全国高等学校総合体育大会 2016 情熱疾走 中国総体」の報告を致します。

異常気象と言われながら天候にも恵まれ、大きな事故もなく無事終了することが出来ました。10年ぶりの三大会でしたが、告知不足の影響もあり、昨年より売上げは少し減りました。

2月のJSECの会議後、各市の実行委員会の挨拶回りから活動を始めました。それぞれの実行委員会の対応の温度差が激しく、こちらの要望がなかなか伝わらず大変でした。

NESとの説明会の際、広島県組合としてNESにTシャツやタオル等、広島県組合として広島県だけの品物を作る様要望しました。

昨今の人手不足の為か、テント代金や警備代、人件費等が以前に比べ高騰し、利益を圧迫する結果となりました。販売員の確保については、小中学校PTAの連絡網の活用が大きな助けとなりました。

最後に、日々の商売に通じますが、変化には敏感に対応していかななくてはならないと改めて痛感しました。今回の経験が、今後の売店事業の発展・成功に繋がれば幸いです。



平成 28 年度 全国中学校体育大会、 北信越ブロック大会、 売店運営報告

富山県スポーツ用品協同組合

事務局 定塚 崇志

はじめに

前回のインターハイより、全国規模のスポーツ大会がブロック開催に移行し、競技の運営が地方自治体の実行委員から、それぞれ高体連、中体連に変わりました。実際の運営は、夫々の体育連盟の担当教員となり、膨大な運営事務作業の中、我々の記念品販売まで目が行き届かないのが実態でした。しかしながら大会及び開催地のイメージは競技会場の印象で大きく左右され、競技場前での記念品販売のイメージが大切な事も、担当の先生方は理解されていました。

上記の流れを理解し、前回のインターハイより富山県組合では記念品売店の運営に関する一切の作業を組合に委託して頂き、様々な事務作業、テントの位置決め、手配、そして警備に関する事なども組合主導で行う形で運営しました。この形で進めると、組合事務作業が増大し、手間も掛かるのですが、運営に関する事項は、実行委員会へ通達をお願いし、スポーツメーカーやアウトサイダーと呼ばれる他の業種の方々にも意思統一を徹底できますし、何より売店に関する様々な事を、組合主導で決定できる利点があります。

北信越ブロック大会（8月2日～5日）

当初、全中大会のみの運営で進めていたのですが、我々の計画には予定していませんでしたが、それなりの売上実績もあり急遽計画に組み入れました。全中大会への準備は1年前より進めていまして、概ねの方針と活動内容は、富山県中学校体育連盟、辻先生の了解も得ていましたので、むしろブロック大会への出店は、中体連より「お願い」される形で出店の運びとなりました。

組合関連（NES）では11競技、12会場での売店設置、他にメーカー主導でバスケットボールと新体操が3会場での売店設置となりました。事業の流れでNESの売店設置以外の会場の運営についても組合で行いました。

売店の運営は基本的に全中大会と同じ形式を取り、基本1テント2名で運営、荷物の管理、搬入、売上を管理する会員とサポートする会員とに

担当を分けました。営業日、売店設置競技に関してはNESさんと協議し、一部の競技に関しては営業日数を増やしました。その結果、事前の準備と組合員の皆様の協力もあり前年の650万円に対し808万円の売り上げを確保でき、一部の会場では商品が足りない事態に陥りました。

会場費関係の告知等は中体連様にお願ひし、テント代金は一律35,000円とし集金は全て中体連へ振り込みをお願いしました。テントの手配などは組合で行い、バスケットボールと新体操は室内で机と椅子での販売としましたので、管理の都合上、こちらでもテント業者に設置と撤収を依頼し、実費を中体連に支払う形としました。

組合売店設置の会場は、他のJSEC加盟の業者さんより5%の手数料を頂いています。

全国中学校体育大会（8月19日～25日）

富山県内ではバレーボール、サッカー、卓球の3種目を6会場での開催で、サッカーのみ開会式を別会場で行いました。組合出店は全ての会場で行い、サッカー開会式会場の県総合体育センターでも、室内で販売しました。

売店の設置に関しては事前に中体連様の了解を得ており、運営に関しては各競技の事務局長の皆様と協議し、設置場所と運営時間、運営方法などについて取り決め、競技施設、テント、警備業者との交渉は全て組合主導で行いました。テントの位置決めは競技会場と協議し観客の動線などを考慮し100%組合で決めました。会場使用に関する費用はバレーボール、卓球は競技主任の口添えもあり掛かりませんでしたが、サッカー関係の県、富山市関連施設は実費が必要となり、申請業務を含め組合負担で進めました。

警備に要する費用は、会場ごとに費用をテント数で割り算出し、JSEC以外の皆様にも了承を得て、実費負担をお願いしましたが、高岡の卓球会場が最後までテント数に変更があり、時間も1時間短縮したため、確定できませんでした。

全体として好天にも恵まれ、売り上げは好調に推移しましたが、商品が不足した会場も目立ち、又、予想外の誤差金も発生するなどのトラブルもありましたが、概ね当初の目標を達成できたと思います。

おわりに

JSECとの合意のもと行っている記念品販売事業ですが、準備作業と販売員のモチベーションで売り上げの大部分は決定すると考えます。組合員の減少と高齢化で、以前のように大規模な運営は難しいと考えますが、組合員の結束強化と専門店の認知事業としては有意義なイベントであると考えますが、収益金を利用して後継者の育成や新規事業への投資など、未来への投資も必要ではと考えます。

第71回いわて国体 を終えて

岩手県スポーツ用品専門店協同組合

理事長 八 森 辰 雄

先日10月11日にていわて国体秋季大会を終了し、10月22日、23日、24日の身障者の大会で全日程を終了します。

この希望郷いわて国体は、5年7ヶ月前に発生した東日本大震災後皆様方から多大なる御支援等をいただき、岩手県組合も皆様の御期待に応えるべく『責任ある業務遂行』をスローガンに通年より早く準備にあたりました。またオフィシャルスポンサー制のもと、キャラクターの著作権を取得し、3、4年前からオリジナル商品を製作し各店舗に展示販売をしてもらいました。これが組合の準備段階の資金ともなりました。

この様に早い段階で準備出来たのは組合金体運営委員会の会長、盛岡市、藤沢体育堂社長藤澤進氏の指揮があつてのことと、身内ならが感謝しております。彼自身、2度目の国体ということもあり、前回の経験と反省のもと、よきリーダーとして私達を引っ張ってもらいました。

早く準備するということは、開催してからの売店業務のことというよりは、各組合店が各自治体と接触を重ねることにより、自分達の店の商売にもつながる物件を得られるということにもなりました。また、自治体によっては考え方、やり方がそれぞれ違うので実行委員会とのやり取り、関係のとり方で、私達の気持ちを理解してもらい、後々

色々な面で優位に展開出来、特に行政側にはクレーム等は言わず『要望』という形で相談し、接してゆくと、協力体制が出来、意外とスムーズに事が運びました。

また大会開催中、次回開催県の愛媛県萩森様、石田様が視察にお見えになり、色々な資料をお渡しして、お話をすることが出来たのは有意義な事だと思いました。具体的な事を、いちばん新鮮な情報として引き継いでゆく事は、開催県の心遣いとして大切な部分だと思います。この様なことを毎年やっていけば、より良い反省と工夫がなされ、『岩手方式を愛媛へと…』というふうに次の開催県へ受け渡すのも開催県の責務だと思います。

国体という、毎年各地を持ち廻るという大会（我々にとっては事業）が71回も続き、日本の体育教育の基となって来たことに少しでも関わったことは、喜ばしいことと思っております。天皇、皇后両陛下を迎えての懇談会にも出席でき、何の理屈もこだわりもなく、日本人であってよかったなという自然な感激を覚えました。

また、台風18号の強風の影響で、まる1日間閉店があり、雨降りが続き、悪条件もありましたが、組合の皆様にもそれぞれに頑張ってもらえました。有難いことです。

また、先日の台風10号による岩手県北部の水害には、北海道・東北ブロックの御支援、御見舞をいただき感謝しております。

こうしていわて国体は『ピンチをチャンスにかえ』皆様方の御支援とお心遣いのもと、やり遂げられたものと私自身思っております。まさしく『復興国体』の事業を終えることが出来ました。改めてお礼と感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。



関東甲信越ブロック協議会大会報告



関東甲信越ブロック協議会

会長 村山明宏

初秋とはいえまだまだ残暑が厳しい中の9月14日、今年の開催県である新潟県の月岡温泉において平成28年度定時総会・大会がJSERA重森仁理事長はじめ組合員44名、メーカー様問屋様33名、総勢78名のご出席で開催されました。

議長選出に続き議事が始まり、平成27年度事業報告及び決算報告、監査報告がなされ、28年度事業計画及び予算案が可決承認されました。引き続き議題は任期満了に伴う役員改選に移り、会長選出について専務理事より上程がありました。今期まで2期4年間にわたり当ブロックを牽引された宍戸会長が勇退されことになり、私、村山が選出され全会一致で承認されました。他の役員についても提示案通りに承認されました。また、平成29年JSERA全国大会が当ブロック主管により東京都にて開催されることが承認され、東京組合佐藤理事長より概要の説明及び協力の要請があり、大会成功のためにブロック全体で協力することが確認されました。他の議案についても全て可決承認され審議が終了しました。

引き続き問屋様メーカー様にもご参加いただき三層懇談会が行われました。

バスケットボールB.LEAGUEのB3リーグで北陸地方のプロバスケットボールチーム『金沢騎士団』を運営する球団、北陸スポーツ振興協議会株式会社 代表取締役社長

中野秀光様に講演をいただきました。独創的なアイデアでサポーターの増加、試合会場への観客動員数の増加を成功させた実例やご自身の幼少の頃からの思考、地域の有力者との関係の構築など我々にとってもとても興味深い講演を拝聴いたしました。

この後、全国でも有数の自家源泉を持つ月岡温泉『華鳳』の湯で日頃の疲れを癒し、宴の席では新潟の特産品をふんだんに使った料理や米どころ自慢の日本酒を存分に堪能し大会は終了しました。

さて、私事ではありますが、新会長として、歴代の会長の方々の功績を重んじ今後の関東甲信越ブロックが更に発展するよう努力をしてみたいと思いますのでJSERAの皆様の更なるご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



四国ブロック大会の報告



四国ブロック協議会

会長 美馬 義一

平成 28 年 8 月 30 日に四国ブロック徳島大会を阿波観光ホテルにて開催いたしました。四国ブロックでは、隔年で時計回りにて、各組合が主催を担当しております。今回は徳島県運動用品小売商組合主管で運営していただきました。参加組合員は徳島県 10 名、高知県 11 名、愛媛県 10 名、香川県 10 名の 40 社 41 名でした。

総会は JSERA の重森理事長にご臨席賜り開催されました。JSERA 四国ブロック協議会会長（美馬義一）の挨拶では、「少子高齢化の波を受け、部活をする生徒数が毎年減少している（参考 高野連発表による各県の 1 年生の登録数の減少他）中、我々の仕事量は確実に目減りしている。個々では真剣に店舗のあり方、経営方針を考えているが、若干目先を変えて、組合員全員で歩む方向で意見を話し合い、討議して行こうではないか。我々はアパレル、グッズを販売しているが、もう一方で学校体育の事を頭にいれておかねばならない。文科省が有る限り、学校の備品、消耗、修繕は毎年予算化がされている。そこに JSERA が取り組んでいる「スポーツ用器具管理アドバイザー制度」を活用することで、新しい可能性が生まれるのではないか」という話がされました。その後、会計報告がなされ、全員一致で承認されました。

又、総会の最後に JSERA より新製品の紹介がされました。(株)シースカイの岡二郎氏（社長）、小川隆久氏（顧問）より、スーパートリノブレスレット、パワーバランスシール、健康サプリメントの PB 化商品提案と実際に使用しての身体能力向上を感じていただきました。

第 2 部の三層協議会はメーカー、卸様 15 社 18 名にご臨席を賜り、進行を徳島県理事長笹倉泰治氏（ササクラスポーツ）の元、開催されました。JSERA 代表挨拶を重森仁氏（JSERA 理事長）、来賓挨拶を羽田野洋氏（東京スポーツ用品工業協

同組合副理事長、D&M 代表取締役社長）にいただきました。続きまして、各県の現状報告は高知県西村仁志氏（にしむらスポーツ）、愛媛県檜垣文雄氏（キナミスポーツ）、香川県篠原正知氏（シノハラスポーツ）、徳島県伊月賢治氏（イツキスポーツ）がされました。

高知県では組合活動として、高知県主催の高知龍馬マラソンに組合で売店（前日受付場所、当日フィニッシュ地点）を展開。又、スポーツ用器具管理アドバイザーを活用するべく、行政機関、教育委員会に内容主旨を説明し、小中学校を中心に展開しつつあります。

次に JSERA 活性化委員長より「スポーツ用器具管理アドバイザー制度の『スポーツを安心してできる場』を提供するための講習会」からの変遷、流れの説明、現状の進捗状況等の説明がなされました。今後、卸組合の社員への講習会を開く予定であり、来年 2 月の大阪見本市会場での講習会も内定している旨の報告がありました。

続いて、「地域密着繁盛店のつくり方」というテーマで阿部貴行氏（栃木県アベスポーツ）よりお話いただきました。地域になくてはならない運動具店になる！常に強く、楽しく、カッコよくを実践し、自店のポリシー（存在理由）と商品を一致させること、そして顧客の購買の動機、商品への購入意思決定を検証し、次の仕入につなげる習慣をつけることなど、他店との違いを明確にしている。又、年 4 回の棚卸を実施していることなど、参考になる貴重な講演でした。阿部社長には、遠方の所、お越し下さいまして、誠にありがとうございました。

以上で四国ブロック徳島大会は閉会いたしました。その後の懇親会も大変すばらしく、地元トップチーム阿呆連による阿波踊りは圧巻でした。

ありがとうございました。





新理事長としての抱負

山梨県スポーツ専門店協同組合

理事長 萩原 明

この度、山梨県スポーツ専門店協同組合の理事長に就任致しましたスポーツショップフジミ 萩原 明と申します。理事長という大役を仰せつかり、誠に身の引き締まる思いです。

山梨県スポーツ専門店協同組合は、昭和 55 年に山梨運動具商組合として設立し、その後かいじ国体、山梨スポーツ・レクレーション祭、全国中学校体育大会を経て、平成 8 年に現在の名称となりました。同年にインターハイが開催され、組合加入の 33 店舗及びスポーツ用品メーカー、選手共々、思い出が残るものとなりました。この様な経過を設立当初より共に携わり経験させて頂きました。

現在、少子化等の社会情勢からスポーツ業界を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。また山梨県スポーツ専門店協同組合員も後継者不足等により、組合員の減少が見られ、これからの運営を危惧しております。

どの年代でも出来る、一生涯行うことの出来るスポーツを目指し、4 年後の東京オリンピック・パラリンピックを念頭に置きながら、スポーツ業界が盛り上がるよう努めることが必要と考えます。そのために、組合員一人ひとりが現在の問題を直視し、幅広い分野に興味関心を持ち情報を得ること、また更なる組合員同士のコミュニケーションと協力体制が必要です。これまでの経験を活かし、そのような環境調整を実施していきたいと思ひます。また、小所帯ならではの良さである「なじみやすさ」をモットーに、「地域をはじめスポーツの楽しみや良さを伝えたり、山梨県スポーツ専門店協同組合の事業を広く展開していきたいと思ひます。

皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新理事長としての抱負

大阪スポーツ用品専門店協同組合

理事長 釣 幸平

平成 28 年 6 月第 35 回定時総会、及びその後の第 1 回理事会におきまして、第 7 代理事長に就任させて頂くことと相成りました。(株)ジャンボスポーツ 釣 幸平 と申します。創業 43 年目の 65 歳で御座います。

岸田前理事はじめ、多くの諸先輩方々の努力によって築いてこられました組合を、今後益々皆様のお役に立つ組合にする為、一生懸命努力いたす所存で御座います。今後とも叱咤激励を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

現在、大阪府の組合員数は 45 社まで減少し、最盛期の半分以上まで落込んでおります。当社でも、ここ数年サッカーを中心とした外商比率が年々上回り、店舗販売に陰りが見えております。その中、今年 2 月に、地域のニーズに合わせた生涯スポーツ（グラウンドゴルフ・卓球・サッカー用品、その他消耗品、およびバドミントンラケット張り）を中心とした店構えに、思い切って 30 年ぶりに 2 回目の全面改装を行いました。

このような状況の中、我々は強（したた）かに、生き延びていかねばならないと思ひます。強（したた）か者とは、容易に物事に屈指ない者、強いもの、海千山千のくせ者、と言う意味で御座います。

今後も、あの手この手を使い、時代の変化に対応しながら、私以下役員一丸となって皆様方のお役に立つ組合を目指し、頑張っていく所存で御座います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

女子会の扉



和歌山県スポーツ用品小売協同組合
下地 雅子
シモジスポーツ

皆様、初めまして！私は、和歌山県と三重県の境になる新宮市で生まれ、スポーツ店での環境の中、育ちました。

初代、祖父が昭和23年女学校や中学校が目の前にあり文房具+運動具店が始まりだったそうです。その後、昭和36年頃、父が大阪での修行を終え、新宮に戻り、運動具店となり、外商販売が始まったそうです。その頃より父が足を運び、メーカーではアシックス・デサント、問屋ではエスエスケイ・ヒロウン・アサイ・美津和タイガー etc. 契約し、今はなくなった会社もありますが、今も長くお付き合いさせていただいています。昭和41年頃、私の母が嫁ぎ店員2名の計4名。店での在庫を持ち、箱積での大きな販売が始まったそうです。昭和50年より今も頑張ってくれている店員さんが入社し、外商も広がりました。平成元年、祖母祖父が亡くなり、父の代になりシモジスポーツ店になりました。私事ですが、小学校・中学校

はバレーボール、高校はバドミントン・陸上クラブでした。その後、京都の短大を卒業後、アシックスに入社し4年後退社。平成4年結婚後、旦那さんと共に新宮へ。

店内はスポーツ全般で、母が事務、その他3名で外商、店販売でした。水災害の時期、平成24年、母が突然他界。今では、2名で外商、私は事務・店販売・家事と毎日追われています。

学生時代のスポーツで学んだことを活かし、新宮市のスポーツ推進委員に。毎週土曜日午前中、体育が苦手な小学校1～6年の子供達を集め、少しずつ体を動かし、出来ることの喜び、楽しむ事を行なっています。しまむら・ユニクロ・ネット販売が盛ん、店での売り上げが落ちると共に、何か！？どうにか！？しなくてはならない。商工会や観光協会に入会し、イベント・SNSのセミナー・勉強会に参加し活動しています。

自分での体調もすぐれず、人とのつながりの中で、長い目で見て“健康”が大事！！ハーフィンソールに出会いました。自分が実践し、今までのお客様からの声の悩み（どの靴を履いてもしっくりこない！ひざ、腰、首が悪い！病院に通ってもなかなかすっきりしない！）に、ハーフィンソール+スポーツシューズのコラボの良さを伝え、悩みを解消できるよう信頼関係を大切に、良い物を勉強し、進めていきたいと思っています。

レディスフォーラムに初参加させていただき、皆さんと意見交換したことを大事に自分も実践していこうと思います。

北海道スポーツ用品小売商組合主催

第3回女子会の集い in 札幌



北海道スポーツ用品小売商組合
吉田 留美子

9月下旬メーカー、卸、小売店の女子総勢21名が札幌市内のホテルに集合。2年ぶりの女子会は美味しい食事、ワンポイントヨガ、ビンゴゲームなどでおおいに盛り上がり楽しい組合活動のひとつを過ごさせていただきました

普段なかなか顔を合わすことがない女子達ですがこの機会にお互い情報交換を積極的に取り入れようとしていることが印象的でした。

最後に村住理事長様、各メーカー所長様次回も



組合、会社経費で女子を参加させていただけますようお願い申し上げます！！

【参加者】

- ・エスエスケイ
- ・ミズノ
- ・成田商店
- ・ダイワスポーツ
- ・三共スポーツ
- ・ヨネックス
- ・スポーツショップ古内
- ・ホクトスポーツ

第18期 第1回理事会報告

日 時：平成28年9月8日（木） 11：00～16：30

場 所：東京スポーツ会館4階 会議室

<報告事項>

1. 理事長報告

- ・[8月30日] 四国ブロック総会（徳島県）出席
- ・アシックスジャパン西前 学社長との面談のために日程調整中

1. インターハイ・全中の結果報告

- ・NES商品の改革を願う。
- ・ポケモンGOの影響で夜間の人出が多く、警備の対応に苦慮した。
- ・台風の際のテント事故の責任を明確にする必要がある。

1. 台風による被害状況報告

- ・岩手県2店の床上浸水の被害状況報告。北海道東北ブロックより2店へ災害見舞金をお渡ししました。

<審議事項>

1. 決算・事業報告・事業計画・予算の件

決 算

- ・資料を基に前田理事より説明。前日の会計監査実施の報告。

事業報告

- ・各委員会、資料を基に補足・修正をした。

<活性化委員会>

美馬委員長

- ・スポーツ用器具管理アドバイザー講習会は順調に実施されている。
- ・オリンピックマークを付けたスタッフ用ジャンパー・ポロシャツをアシックスに依頼継続中です。
- ・茨城県・愛媛県両県が法人化に向けて準備している。

<共生委員会>

武宮委員長

- ・理事会時のブロック報告は、共生委員会に沿った不都合の問い合わせやブロック内では解決できない事案等でお願ひしたい。

<広報委員会>

松村委員長

- ・JSERAレポート発行回数減に伴い、JSERAメール配信を開始。

<事業委員会>

角前委員長

- ・ラインパウダー・ショッピングパウダー共に地域によって販売に大きな差がある。

<総務委員会>

土赤専務理事

- ・組合店増強へ具体的取組みが出来ていなかった。
- ・毎月、スポーツ産業新報新聞に情報を記載している。

事業計画・予算の件

- ・資料を基に説明があり、経費節減について話し合われた。（全員一致で承認）

2. 全国大会（定時総会）和歌山大会の件

- ・定時総会の役割分担を決めた。

功労者表彰の件

- ・資料の9名を表彰する。

記念品の件

- ・カタログギフトに決定。
- ・感謝状贈呈式には全員壇上に上がり、全中・総体については陸上競技開催県（岡山県と長野県）が代表で受け取る。

レディスフォーラムの件

- ・「女性ならではの発想でお店の満足度を上げていこう!!」をテーマに、これから参加者にアンケートを送付予定。

- ・参加人数は25名程度。事務局、またはJSERA理事が1名立ち合う。（全員一致で承認）

3. 第18期役員改選の件

- ・次期役員候補者選考委員会にて選考した、役員の候補者の報告をした。（全員一致で承認）

4. 委員会の運営について

- ・活性化委員会：スポーツ用器具管理アドバイザー制度に向けた活路開拓事業を重点に活動する。
- ・共生委員会：販売促進活動の正常化会議を東京開催の一本化にする。また、体育器具のカタログ作成の実現に向け準備をしていく。
- ・広報委員会：ホームページ及びメールの活用を充実させると共に広報誌JSERAレポートの発行回数を検討。
- ・事業委員会：POS事業の推進を新たに追加。（元広報委員会業務）
- ・総務委員会：会員増強対策を重点に活動する。
- ・会計：賦課金収入について検討していく。（全員一致で承認）

<協議事項>

1. JSERA 推奨品について

- ・シースカイ商品・折りたたみ大型ミラー・ポンチョを取り扱うにあたり、各社と覚書の取り交わしを行なう。
- ・全国大会で販売促進商品の紹介をしてみてもどうかの意見が出された。
- ・シースカイより、PB商品についての企画書が出されたが、現段階では無理があるとの意見が多数出され、現行商品の販売強化をしていく事とした。

2. 体育の日ボールを贈ろう事業の件

- ・計画書の提出状況を確認。まだ、出されていない県が若干あるので実施を促していく。

3. スポーツ用器具管理アドバイザーの件

- ・今後の講習会の日程の確認。
- ・今後、全会場にて受付9時30分、開始10時とする。
- ・次回大阪見本市（2月8日）のセミナーで『スポーツ用器具管理』について説明予定（美馬副理事長）。
- ・スポーツ用器具のカタログ作成について、正常化委員会と行なう。

4. その他

- ・総務委員会より会員名簿の発行を提案。前回発行から5年近く経っている。名簿作成について問い合わせも来ている。メーカー・卸の広告依頼をお願いし、次回理事会にて企画書を提示する。
- ・退任の挨拶
松村副理事長・笹渕理事・桑原理事・前田理事・渡邊理事

第 18 期 JSERA 理事会・役員会（行事日程）

年	月	日	曜日	JSERA 行事	理事会	役員会
28	8			全中（北信越） インターハイ（中国）		
		30	火	四国ブロック大会（徳島） 阿波観光ホテル		
	9	7	水	（会計監査）		第 1 回
		8	木		第 1 回	
		14	水	関東甲信越ブロック大会（新潟） 月岡温泉 白玉の湯「華鳳」		
	10	上旬		国体（岩手） 体育の日活性化（各県組合） 「ボールを贈ろう運動」		
		20	木	JSERA(定時総会) 全国大会（和歌山） ダイワロイネットホテル和歌山	第 2 回 第 3 回	
	11	10	木	九州ブロック大会（熊本） あゆの里		
		22	火	近畿ブロック大会（京都） 新都ホテル		
		24	木	中国ブロック大会（島根） ニューウェルシティ出雲		
		30	水			第 2 回
	12	1	木		第 4 回	
29	1	6	金	関西新年挨拶会		
		7	土	東京新春年賀の会		
		8	日	名古屋新年挨拶会		
		11	水	北陸 3 県新春賀詞交歓会（福井）		
	2	6	月	JSERA 全国理事長会議（午後） ニューオーサカホテル	第 5 回	
		7	火	JSEC 連絡会議（午前） 三大会伝達会議 卸役員との懇談会（午後 見本市会場）		
		7・8	火・水	大阪卸見本市（インテックス大阪）		
	3					
	4	26	水	正常化対策会議（東京）		第 3 回
		27	木		第 6 回	
	5					
	6	7	水	中部ブロック大会（福井） ホテルフジタ		
		21	水	北海道東北ブロック大会（山形） 日本の宿 古窯		
	7	5	水			第 4 回
		6	木		第 7 回	
	8			全中（九州） インターハイ（東北）		
	9	6	水	（会計監査）		第 1 回
		7	木		第 1 回	
	10			国体（愛媛）		
		12	木	JSERA（定時総会）全国大会（東京） 東武ホテルレバント東京	第 2 回	